

# ふれあい 夢通信

夢

目標

志



## ～子どもたち一人ひとりが夢を実現するためのキャリア教育～

今、学校では、子どもたち一人ひとりが自分の生き方について考え、「夢」や「目標」をもち、「志」を抱きながら、それをかなえるためにがんばる中で、「生きる力」を身に付け、将来、一人の社会人・職業人として自立していくために必要な意欲や態度、能力を育むようキャリア教育を推進しています。

キャリア教育を効果的に推進するためには、子どもたちが生活している学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちに働きかけていくことが大切です。

## 「キャリア教育」とは？

**Q 「キャリア教育」の「キャリア」とはどういう意味ですか。**

**A** 一般的に「キャリア」と聞くと、「職業上の経歴」や「職業上の成功」または、「高度専門職」などを思い起こす人も多いと思います。しかし、ここでいう「キャリア」とは、生活のすべての中で経験するさまざまな立場や役割を示しています。一言でいえば、「その人の人生そのもの。生き様」ということになります。

**Q 「キャリア教育」ってどんなものですか。**

**A** 小学校の早い段階から発達段階に応じて、学校の教育活動全体を通じて、子どもたち一人ひとりに自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育む教育のことです。

**Q 「キャリア教育」は、小学校から必要なのですか。**

**A** 小学校の段階は、将来の生き方や職業への夢や希望をふくらませながら勤労観・職業観を育成する大切な時期です。また、進路の選択能力等の基盤を形成する上でもキャリア教育は必要です。

**Q なぜ、「キャリア教育」の重要性が叫ばれているのですか。**

**A** キャリア教育の推進が求められている背景には大きく次の点があります。  
①産業構造の変化や雇用の多様化を背景とした進路をめぐる環境の変化  
②若者の職業人としての基本的な資質や能力の低下  
③社会的に自立していない若者の増加  
このようなことから、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な力を身に付けることが求められているのです。

## 子どもたちの進路をめぐるさまざまな課題の解決に向けて キャリア教育が重要なのです。



### 子どもたちの進路をめぐる課題

- ・ 明確な目的や目標をもたないままの進学や就職
- ・ 不登校や中途退学
- ・ 就職後の早期離職
- ・ フリーター志向の広がりやニートの増加



## キャリア教育の推進

### 豊かな人間性の育成

子どもたちのよさや可能性を伸ばす問題解決的な学習や体験的な学習の一層の充実を図り、他人を思いやる心や自立心・責任感等を育てます。

### 学習意欲と学力の向上

進路への関心や目的意識を早い段階からもたせることで、学ぶことへの意欲を高め、学力の向上を図ります。

### 勤労観、職業観の育成

子どもたちに働くことの大切さや楽しさを実感させるとともに、勤労観、職業観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせ、主体的に進路を選択する態度・能力を育てます。

### 社会的自立の支援

コミュニケーション能力や基本的マナー等を身に付けさせ、社会的自立を促します。



# 学校では、教育活動全体をとおしてキャリア教育を推進しています。

	各教科 (例)	道徳 (例)	特別活動 (例)	総合的な学習の時間 (例)
小学校 (小学部) 基礎形成期	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科や家庭科における家庭での仕事の理解と役割分担に関する学習</li> <li>社会科における地域の人の生産・販売やわが国の産業についての調査活動</li> <li>見学や資料を活用した調べ学習</li> <li>課題や活動の選択、自らの将来について考える機会を設定した学習活動</li> <li>生活科「大きくなった自分」</li> <li>社会科「産業と人々の生活」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の願いを理解する学習</li> <li>働くことの大切さを知り、進んで働くことを理解する学習</li> <li>社会をよくするための話し合い活動</li> <li>公共のために役立つことを考える学習</li> <li>「公德心・決まりを守る」</li> <li>「勤勉努力・ねばり強さ」</li> <li>「誠実明朗・自分の特徴」</li> <li>「働くことの意義」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級や学校における生活上の問題を解決する活動</li> <li>希望や目標をもって生きる態度を育む学習</li> <li>心身ともに健康で安全な生活態度を育む学習</li> <li>望ましい人間関係の育成を図る学習</li> <li>児童会活動等における学校生活の充実と向上のための協力活動</li> <li>「係と当番活動を見直そう」</li> <li>「なかよし班 (異学年) 活動」</li> <li>「校区内の空き缶収集」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び方やものの考え方を身に付ける学習</li> <li>問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み、自己の生き方を考える学習</li> <li>ボランティアなどの社会体験を行う活動</li> <li>見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習</li> <li>「公園はかせになろう」</li> <li>「1/2成人式」</li> <li>「福祉施設との交流」など</li> </ul>
中学校 (中学部) 充実発達期	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術・家庭科、社会科の公民的分野や選択教科における関連分野での学習</li> <li>保健体育科、国語科、英語科での学習</li> <li>見学や資料を活用した調べ学習</li> <li>課題や活動の選択、自らの将来について考える機会を設定した学習活動</li> <li>国語科「他者の考えの尊重、自己表現」</li> <li>家庭分野「私たちの家族と地域、自己の成長と家族」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の意義を理解し、役割と責任を自覚しながら集団生活の向上意欲を高める学習</li> <li>勤労の尊さや意義を理解する学習</li> <li>奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に寄与しようとする心情を育む学習</li> <li>「理想の実現」</li> <li>「個性や立場の尊重」</li> <li>「生きる喜び」</li> <li>「年齢に応じた社会的責任」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人及び社会の一員としての生き方に関する学習</li> <li>進路適性の吟味と進路情報の活用を目的とした学習</li> <li>勤労生産・奉仕的行事等における職業や進路にかかわる啓発的な体験</li> <li>生徒会活動等における学校生活の充実・改善・向上を図る活動</li> <li>「遠足、修学旅行 (班行動・コース選択)」</li> <li>「生徒会活動」、「係・班活動」</li> <li>「15才の決意 (わたしのライフプラン)」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び方やものの考え方を身に付ける学習</li> <li>問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み、自己の生き方を考える学習</li> <li>ボランティアなどの社会体験を行う活動</li> <li>見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習</li> <li>「社会福祉体験」</li> <li>「上級学校調べ」、「職業調べ」</li> <li>「職場体験」など</li> </ul>
高等学校 (高等部) 社会移行期	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育科、国語科、外国語科、公民科での学習</li> <li>職業に関する教科・科目における実習等の学習</li> <li>「産業社会と人間」等の学校設定教科・科目での学習</li> <li>見学や資料を活用した調べ学習</li> <li>課題や活動の選択、自らの将来について考える機会を設定した学習活動</li> <li>外国語科「自分の未来を英語で表現しよう」</li> <li>数学科「社会生活と数学」など</li> </ul>	<p>※道徳教育については、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うこととしている。公民科やホームルーム活動が中心的な役割を担っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期の悩みや課題とその解決を図るための学習</li> <li>主体的な進路の選択決定と将来設計を立てることができるようになるための学習</li> <li>社会生活における役割の自覚と自己責任にかかわる学習</li> <li>勤労生産・奉仕的行事等における職業観の形成や進路の選択決定に資する体験</li> <li>「ライフプランの作成」</li> <li>「キャリアガイダンス」、「進路講習会」</li> <li>「体育祭」、「文化祭」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び方やものの考え方を身に付ける学習</li> <li>問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み、自己の在り方生き方を考える学習</li> <li>生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について知識や技能の深化、総合化を図る学習</li> <li>ボランティアなどの社会体験を行う活動</li> <li>見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習</li> <li>「インターンシップ」</li> <li>「ボランティア活動」など</li> </ul>

(参考:「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」)

# 学校では、いろいろな学習や活動をとおして、発達段階に応じた意欲・態度や能力を育てています。

## 子どもたちの声

### 道徳・特別活動

#### トイレも心もピカピカ

道徳の時間にボランティアとして、地域の清掃活動をしている方のお話を聞き、とても感動した。そこで、特別活動の時間に「トイレも心もピカピカ大作戦」を実行したが、人や社会のために自分でも役に立つことができるのを実感した。**N中学校1年**

### 産業社会と人間

#### 自分を見つめ直す

「産業社会と人間」の授業では、今まで見つめることができなかった自分自身のことを考え、そして、仕事のことを調べたり、講演会を聞いたりして、いろいろなことを通じてたくさんのことを学ぶことができた。**H高等学校1年**

### 総合的な学習の時間

#### インターンシップを終えて

いろいろな体験を通して、今学校で勉強していることが、どのように社会で役立つかを知ることができ、これから勉強していくことが、将来にどうつながっていくかがわかり、また、これからの学校生活をどう過ごしていけばよいのかもわかった。**S高等学校2年**

### 総合的な学習の時間

#### 職場体験で新たな目標を

5日間の職場体験で、仕事の苦勞、おもしろさなどを知り、何のために働くのかを考え直した。新たな目標を発見する貴重な体験をすることができた。**F中学校2年**

### 社会

#### フリーター、ニート問題から学ぶ

社会の時間にフリーターやニートについて考えた。その後、「自由と責任」について学習した。仕事に就く機会が平等な社会、仕事に失敗してもやり直しができる社会、そんな社会をつくっていくことが必要だと思った。**K中学校3年**

### 総合的な学習の時間

#### 将来の夢がいっぱい増えました

5日間にわたっていろいろな職業を知るための学習をした。仕事って大変だけど、楽しいこともいっぱいあることがわかった。**H小学校6年**

### 算数

#### かけ算は生活にやくだつよ

計算するのはとてもめんどろけど、先生におしえてもらって、算数は生活するのに大切だということがわかった。**K小学校3年**

### 生活

#### スーパーのひみつ、みつけたよ

まちたんけんてスーパーにいったよ。おじさんはあつというまにねだんをつけたよ。みせのおくでみんながキャベツをはんぶんきって、ラップにつつんでいたよ。**H小学校2年**

### 総合的な学習の時間

#### 苦勞とやりがい

電力会社の方のお話を聞いた。便利な生活を支えている人々がいるということを知った。「苦勞が多いからこそやりがいがある」という言葉が強く心に残った。**A小学校5年**

### 道徳

#### 働くことって気持ちいい

二人の女の子が指人形の劇場をしているおじさんを助けて大成功させる「小さな劇場」というお話を聞いて、働くことについて考えた。これからは、家の手伝いや係の仕事を進んでやっていこうと思う。**S小学校3年**



## 子どもたちが、将来たくましく自立していくために、家庭ではこんなことが大切になります。

- ☑ 夢について語り合っていますか。
- ☑ 基本的な生活習慣が身に付いていますか。
- ☑ あいさつを交わしていますか。
- ☑ 一緒にいろいろな体験をしていますか。
- ☑ 家庭の中で役割（手伝いなど）を決めていますか。

※家庭でのキャリア教育の基本となります。



## 家庭でのキャリア教育は、子どもたち一人ひとりの夢の実現に向けて大きな力となります。

- 家の手伝いは、家族の一員としての自覚を高め、社会性とともな勤労観・職業観を育む基礎になり、いわゆるニートやフリーター問題の解決にもつながります。
- 子どもと夢について語ることは、進路への関心を高め、意欲をもって学習に取り組むことにつながり、学力の向上も期待できます。



キャリア教育を意識して子育てをしましょう。

### 保護者の声

#### 読書でよりよい生き方を

本を読むことが大好きな娘は、最近伝記を好むようになり、主人公の行動や言葉に、感想を述べるようになりました。そんなとき、その本について娘といろいろな話をするにしています。先人の思いにふれることは、将来の生き方にもきつといい影響を与えてくれることと思います。

小学校1年保護者

#### 家族の一員としての自覚

我が家では「社会の一員になるために、まず家庭の一員であれ」ということを基本におき、子どもにさまざまな職業や仕事には苦勞もあるけれど、大きなやりがいや達成感もあることを、家庭の中で有形無形のうちに感じ取らせることにしています。がんばったらほめる。がんばらなかつたら反省を促す。ただこれだけのことで、子どもの将来は大きく変わると思います。

小学校3年保護者

#### すてきな宿題

「ねえ、お母さん。お母さんは子どもの時、何になりたかった？」こう聞かれたのをきっかけに、しばらくの間、子どもと夢中になって話をしました。後で聞くと、「家に帰って夢について話すこと」が宿題だったとか。すてきな宿題のおかげで、娘としっかり向かい合うひとときを過ごすことができました。

小学校4年保護者

#### 職場体験がもたらした成長

職場体験では、周囲の方の支えを感じながら、自分の力で頑張れたことに達成感と充実感を味わうことができたようです。苦しいこともあったでしょう。しかし、目を輝かせて一生懸命報告する息子を、親としてしっかり受け止めたとき、大きな成長を感じることができました。事業所の方から感謝します。

中学校2年保護者

#### 早寝早起き朝ご飯

受験を前に親子で生活習慣を見つめ直してみました。睡眠を十分に取、規則正しく生活することは、学習意欲を高め学力の向上にもつながるはず。このことは、ひよっとしたら自分の夢への近道になるかもしれません。そう考えて、一緒にがんばっていきましょう。

中学校3年保護者

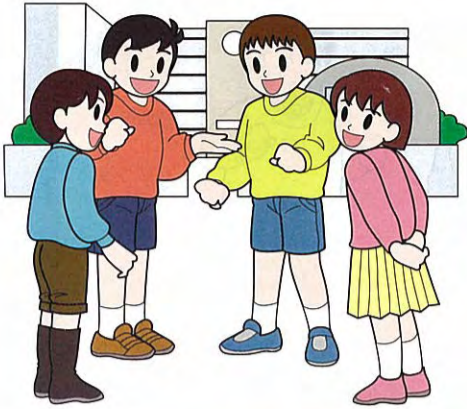
#### 子どもの将来、親の責任

息子に将来のことについて相談を受け、考えているほど楽な道ではないと思うけれど、親としては、「あなたなら大丈夫、自分の可能性を信じてがんばって」と応援していきたいと思います。将来、そのことに責任を取るのは息子自身です。親としては、そのような進路決定をした息子を今まで育てたことに対して見届ける覚悟です。

高等学校1年保護者



# 家庭が学校・地域と連携してキャリア教育に取り組むと、子どもたちにこのような力が付きます。



## 人間関係形成能力

他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、さまざまな人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む

### 自他の理解能力

自己の理解を深めながら、他者の個性を尊重し、互いを認め合うことを大切にして行動していくことができる。

### コミュニケーション能力

いろいろな集団の中でコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら自分の成長を果たしていくことができる。

## 情報活用能力

学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす

### 情報収集・探索能力

進路や職業等に関するさまざまな情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自分の進路や生き方を考えていくことができる。

### 職業理解能力

さまざまな体験等を通して、学ぶことと働くこととの関連や、今しなければならぬことなどを理解することができる。



## 将来設計能力

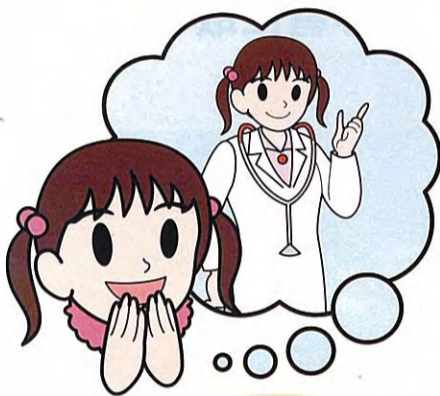
夢や希望をもって将来の生き方を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する

### 役割把握・認識能力

生活や仕事上の役割や意義等を理解し、自分の果たすべき役割等についての認識を深めていくことができる。

### 計画実行能力

目標とする将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路設計を立て、実際の選択等で生かしていくことができる。



## 意思決定能力

自らの意志と責任で、よりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する

### 選択能力

さまざまな選択について、比較検討したり、葛藤を克服したりして主体的に判断し、自分にふさわしい選択・決定をしていくことができる。

### 課題解決能力

希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組むことができる。



## 県教育委員会では、家庭と学校でのキャリア教育を支援するために、「キャリア教育推進事業」を展開しています。

家庭・地域・産業界等との連携

キーワード：「連携」と「積み上げ」

校種間の積み上げ

### ○県キャリア教育推進協議会の開催

効果的なキャリア教育の推進方策等を検討する。

### ○キャリア教育地区推進会議の開催

担当教員の資質向上と校種間の連携による推進方策等を検討する。

### ○県キャリア教育フォーラムの開催

キャリア教育を広く県下に啓発・普及する。

### ○「キャリア学習プログラム」の作成

発達段階に応じた体系的な学習プログラムの作成をし学校に配付する。

### ○キャリアガイドブック「夢サポート」の作成

進路選択を間近にひかえた中学校2年生の学習意欲の向上と進路意識の醸成を図るために作成し一人ひとりに配付する。

### ●「大人に学ぶ小学生サポートプラン」推進事業

小学校において、地域の方々を招き、職業講話と体験を組み合わせた5日間の集中講座を実施する。

### ●国指定「キャリア・スタート・ウィーク」推進事業

中学校において、連続した5日間以上の職場体験等を実施する。

### ●インターンシップ推進事業

高等学校において、企業・公共機関等で実際の就業体験を実施する。

### ●キャリア・インストラクター派遣事業

企業・産業界関係者、大学教授等を高等学校に派遣し、講話やディスカッションを実施する。

など